

高松市立古高松小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

一人ひとりが輝く教育 ～自らの力でよりよい生活をひらく子どもの育成～

【本校の現状と課題】

- ① 「新体力テストの数値分析の結果」より
 - 全学年男女共にほとんどの種目において、学年平均が県平均を下回っている。
 - 総合評価では、運動の得意な児童の割合が少なく、運動を苦手としている児童の割合が多い。
- ② 「運動に対する意識・運動習慣」についての分析
 - 休み時間に外遊びを楽しみにしている児童がいる一方、外遊びを避ける児童がおり、運動する児童とそうでない児童の二極化が見られる。

【取組み】

達成感と見える化で促す取組

なわとび、持久走の取り組みにおいて、各学年団で達成目標・基準を設定し、児童のがんばりや目標達成に対して合格証や達成賞として表彰する。また、上位入賞者は校内に掲示し、継続して運動に取り組もうとする意欲・態度の育成を図る。

スポーツ委員会主催の運動企画

スポーツ委員会が中心となって、全校生が楽しめるような運動や記録会を企画する。参加意欲を高めるために運動のゲーム化をしたり、表彰したりすることで参加意欲を高めていく。また、3学期には全校生参加の持久走月間を設定し、児童全員が運動する機会を確保する。

個人に合った目標の設定

学校独自のチャレンジカード（水泳・なわとび）を作成し、運動が得意な児童も苦手な児童も、個人に合った目標を設定できるようにする。また、授業では、誰もが楽しめる教材の工夫やスモールステップを設定することで運動への苦手意識を減らす。

【目標】

- ① 「新体力テストの数値分析の結果」より
 - 全学年男女共に学年平均が県平均を上回る項目を増やす。
 - 体力調査の総合人数の数値を昨年度よりも向上させる。
- ② 「運動に対する意識・運動習慣」についての分析
 - 休み時間に外遊びを実施する児童の割合の向上。
 - 運動に対して苦手意識をもつ児童の割合を減らし、運動好きの児童を増加させる。